

皮膚科医に聞く

皮膚科部長 **しよくそう まこと**
初道 誠



しよくそう 褥瘡について



褥瘡（しよくそう）は、床ずれともいいます。
自力で動けない状態で、長い時間同じ姿勢でいることで圧迫された皮膚に血流が十分に行き届かず、組織が傷つく病気です。
褥瘡発生のメカニズムや症状等については、次のとおりです。

【褥瘡発生のメカニズム】

- ・外力（硬いベッドの圧力）で骨の突起部の皮膚が圧迫されることで血行が悪くなること
- ・ベッドで起き上がった時、皮膚がひっぱられ組織の血流が悪くなること
- ・皮膚にずれが加わることで皮膚表面に傷をつけること

【症状】

- ・初期では持続する発赤
- ・皮膚のびらん（浅い傷）
- ・皮膚潰瘍（深い傷）
- ・黒く死んだ皮膚
- ・局所に感染を合併してさらに深い傷となっていくま

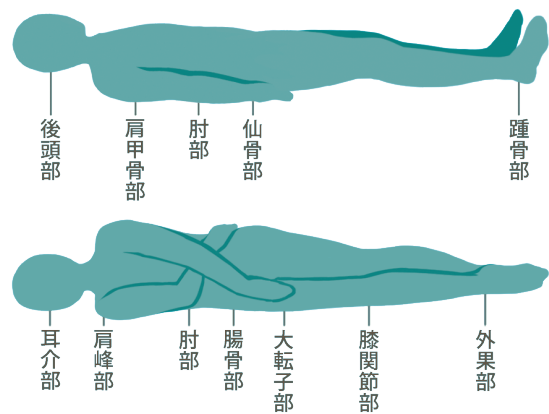
【褥瘡の発生リスクのある人】

- ・自力で動けない人、寝たきり状態にある人
- ・経口摂取が十分とれず、栄養不良状態にある人
- ・加齢に伴う皮膚の薄さ、クッション機能の低下がみられる高齢者

【治療】

- ・褥瘡予防のため少なくとも2時間ごとの体位変換、体圧を分散するマットの使用
- ・持続する発赤や浅い傷の早期発見
- ・局所は被覆材で保護や外用薬塗布の治療
- ・深い難治の褥瘡は短期の治療入院
気になる症状がございましたら、ご相談ください。

【褥瘡が発生しやすい部位】



発行：独立行政法人労働者健康安全機構 富山ろうさい病院 地域医療連携室

富山ろうさい病院だよりは、当院ホームページ（URL <http://www.toyamah.johas.go.jp/dayori>）にも掲載しています。

【お問い合わせ先】TEL(0765)-22-1280（病院代表）

E-mail chiiki2@toyamah.johas.go.jp



▶バックナンバーはこちらの

QRコードからも確認できます。